

坂の上通信

平成三十年十一月八日
広島市立美鈴が丘高等学校
新聞文化部(四〇三演習室)

新人大会 成果続々

弓道・女子テニス 中国大会へ

多くの部で新人大会が行われている。今回は、成果を上げた二つの部に話を聞いた。

弓道部は、10月末に行われた広島県高等学校弓道新人大会において、個人の部で2年2



弓道場で練習に励む部員のみなさん

組の森本将裕君が準優勝。団体の部では男子が優勝して、今月開かれる中国高等学校弓道新人大会、および全国大会への出場が決定した。

部長や部員たちは、

学校の「顔」にインタビュー



今回は、1年6組担任で英語科の坂田先生にお話を伺った。

具体的には、あまり。好きだった教科、苦手だった教科はありますか？

好きだった教科はやっぱり英語。それから歴史ですね。苦手な教科

は、特にはなかったです。

現在の趣味は何ですか？

読書と映画鑑賞です。本は、ジャンルを問わず色々読みますね。最近見た映画は「ハンソク」です。

美高生に一言。夢を大きく持つてください！

一年生大学訪問

10月25日、一年生は大学訪問を行った。行き先は広島大学、広島市立大学、県立広島大学の3つ。記者は広島大学を訪問したので、その様子をレポートする。



大学の概要や学部説明を聞く1年生 (広島大学)

「弓道は個人競技だがチームとしての意識を持って、一本一本集中して練習してきた。優勝という体験を経て、各自が自分の課題に向き合う姿勢が出来てきたと思う。次の目標は、12月の全国大会で優勝することだ。大会では初心者が見ても美しい射をしていくので、ぜひ応援してほしい」とコメントした。

女子テニス部も、広島県高等学校新人テニス大会団体戦で優勝という素晴らしい成績をおさめた。

顧問の浅枝先生は、この成績について次のようにコメントした。

「苦しい場面が多かったが、選手たちもよく我慢し、全力で戦ったと思うが、それをはねのける強さを見せてくれた。中国大会では、練習を重ねて心技体のレベルをさらに一段階上げ、全力で取り組んでいきたい」

女子テニス部は、11月16日からびんご運動公園で開催される全国選抜高校テニス大会中国地方予選に、広島県代表として出場する。

机の上の美術館

今回は体育科の長船先生の机を取材した。写真は出雲大社の近くにある日御碕(ひのみさき)神社で手に入った「御神砂守」だ。日御碕神社では表に出るおらず、神社の人に「お砂守をください」と伝えなければ買えない代物。いわば隠しメニューのような、知るとつたり散策をしたりと、各自自由に過ごした。広島のキャンパスはかなり広く、面積は東京ディズニーランド5個分に相当するそう

だ。大学訪問では、具体的な内容やキャンパスの雰囲気も多く学ぶことができたようだ。この経験を生かして、これからの大学選択や進路学習に役立ててほしい。



赤い袋の御神砂守

神職の方に声をかけこのお守りを手に入れて見てはどうだろうか。

ホサン高校 今年も来校

10月19日、今年も韓国のホサン高校の生徒と先生が来校した。

この日は講堂で歓迎行事が開かれた。始めに本校吹奏楽部による歓迎演奏が行われた。有名な曲がいくつも演奏され、ホサン高校の生徒達にも楽しんでくれたようだ。その後



講堂で自己紹介をするホサン高校の生徒たち

その後は各部活動の見学および美高のボランティア生徒との夕食会。翌20日の土曜日は同じく美校のボランティア生徒とともに、宮島の観光にでかけた。

美・鈴・鈴・鈴

今年もホサン高校の生徒が来校した。今回の行事をきっかけとして、韓国について知ったり、他国の高校生と交流を深めたいと思った人もいるだろう。最近では修学旅行で海外の姉妹校を訪ねたりするなど、海外の学生との交流の機会を設けている学校も多いが、高校生が国際交流を行う意義とは一体何だろうか。▼言うまでもなく、相手を理解することによって様々な障害を取り除き、平和で豊かな世界を築く第一歩になる。しかし、国際交流は何よりもまず、外国を通して日本を相対的に見ることにつながるだろう。普段はあまり意識しない私達の文化の魅力や価値に、外国と比較することで改めて気づき、より大切にしようとする気持ちにもつながるはずだ。▼2年後には東京オリンピックも開催される。国際化が叫ばれる今だからこそ、日本がどのような価値観・文化をもっているのか、自分の言葉で語れる力が求められているともいえるだろう。

編集後記

今号は10月中の行事や大会を中心にまとめた。次号も積極的に取材に取り組みたい。